

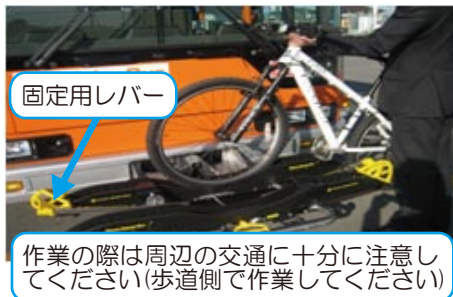
# 《自転車ラックバスのご利用方法》

## 乗車方法

- ①乗務員に自転車を積載する旨と降車停留所をお知らせください。
- ②自転車ラックの黄色いレバーを引きながらラックをゆっくり手前に倒してください。



- ③ラックのレールにタイヤを合わせ、黄色い固定用のレバーをタイヤ上部にかけて固定してください。



固定用レバーは落下防止の為、必ずタイヤ上部へかけてください。

- ④自転車をしっかり固定したら、前ドア又は中ドアからご乗車ください。



## 降車方法

- ①乗務員に自転車を降ろす旨をお伝えください。
- ②固定用レバーを外し、自転車をゆっくり降ろしてください。



作業の際は周辺の交通に十分に注意してください(歩道側で作業してください)

- ③ラックの黄色いレバーを引いて、ゆっくりラックを戻してください。



走行中にラックが倒れないようしっかり戻してください

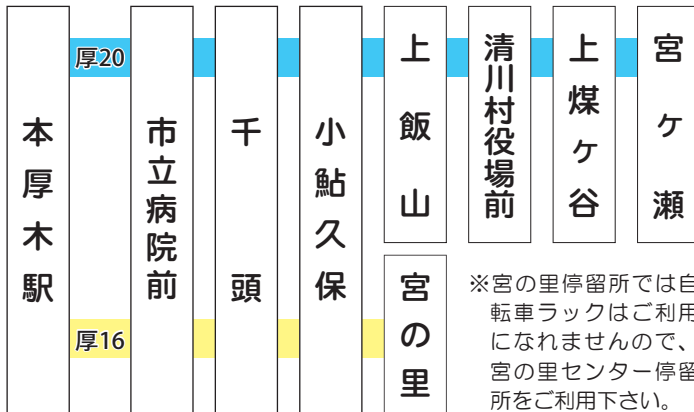
- ④ラックを戻したら、危険ですのでバスから離れてください。

## ご 注 意

自転車の積み降ろしはお客様ご自身で行っていただきます。作業の際は周辺の交通に十分ご注意ください。

# 《自転車ラックバスのご案内》

## 自転車ラック 利用可能路線・系統と主な経由地



- ◇上記の路線・系統の全ての停留所相互間で、自転車ラックがご利用になれます。(宮の里は除く)
- ◇上記以外の路線・系統では自転車ラックはご利用になれません。

## ご 注 意

◇本厚木駅～宮の里線は、宮の里折返し場内では自転車ラックをご利用になれません。1つ本厚木駅寄りの「宮の里センター」停留所をご利用下さい。

◇事故防止のため、本厚木駅発17:00以降の便については、自転車ラックのご利用を本厚木駅～清川村役場前間とさせていただきます。

◇お客様の安全のため、上飯山～宮ヶ瀬間は自由乗降区間ですが、自転車ラックのご利用については各停留所に限らせていただきます。

## 自転車ラックご利用の際の注意事項

- ◇自転車ラックは上記の指定された路線・系統・時間帯に運行する自転車ラック装備車両以外はご利用になれません。
- ◇故障・整備点検や遅延などにより、一般車両で運行する場合がございます。その際は自転車ラックはご利用になれませんのでご了承ください。
- ◇自転車ラックに積載できる自転車は2台までです。自転車ラックが満載の場合はご利用になれません。
- ◇自転車ラックに積載できるのは当社が定める「自転車ラック積載基準」を満たす自転車に限り、ただし、基準を満たしていても、運行上安全を確保できないと判断した場合は、自転車の積載をお断りすることがございます。
- ◇自転車ラックに積載した自転車について、当社は滅失又はき損によって生じた損害を賠償する責に任じません。(但し当社側に過失があった場合はその限りではありません)。
- ◇その他自転車の積載に関する事項については当社運送約款によります。

## 自転車ラック積載基準

積載可能台数	2台まで
ホイールサイズ	16インチ以上29インチ以下
タイヤ幅	3インチ以下
重量	1台当たり50kg以下
ホイールベース	48インチ以下

## 自転車積載料金

**1台1回 100円**

(大人・小児、距離、時間帯に関係なく均一)

◇現金の他、PASMO・Suicaでもお支払いいただけます。  
※運賃お支払い時に、合わせてお支払い下さい。

## お 願 い

固定用レバーは左の写真のように必ずタイヤの上部にかけてください。右の写真のように固定用レバーを横にかけると不安定になり、落下する恐れがあります。

